

## スズキ、SUV の新型「S-CROSS(エスクロス)」を世界初公開



スズキ株式会社は、クロスオーバー車の「SX4 S-CROSS」を全面改良した SUV の**新型「S-CROSS (エスクロス)」**を世界初公開した。ハンガリー子会社のマジャールスズキ社で生産し、2021 年末より欧州での販売を皮切りに中南米、大洋州、アジアへも輸出する。

「SX4 S-CROSS」は、2013 年の発売以来、乗用車と SUV を融合させたクロスオーバー車として、欧州を中心に好評を得てきた。今回の全面改良にあたって、**新型「S-CROSS」**は SUV らしいスタイリング、快適性、様々な情報を表示するディスプレイオーディオ、スズキ独自の四輪制御システム「ALLGRIP (オールグリップ)」による走行性能と安全性を兼ね備えた。これらの要素を「Bold (堂々とした)」、「Sophisticated (洗練された)」、「Versatile (万能)」の 3 つのコンセプトで、それぞれスタイリング、技術、使い勝手の進化を表している。

### ● 新型「S-CROSS」の主な特長と主要諸元

#### スタイリング「Bold」

- ・ フロントに大型グリルや特徴的な 3 灯式 LED ポジションランプを採用。ボンネットと共に高く配置することで、SUV らしい逞しい印象とした。
- ・ タイヤハウスにはスクエア形状のモールディングを施し、屈強さを表現。また、ボディーサイドは流れるようなショルダーラインを引き、強く且つ滑らかに走る力を表現。
- ・ リヤもフロントと同様にランプとバンパー位置を高く配置し躍動感を表現するなど、どの角度から見ても堂々とした SUV の風貌を感じさせるエクステリアに仕上げた。
- ・ インテリアは力強い SUV に合う立体的な造形とし、中央に多機能な 9 インチの大型 HD ディスプレイオーディオを採用。スマートフォンとの連携はもちろん、車両情報やカメラ映像表示といった運転支援機能も備え、内外装ともにドライバーに自信と安心感を持たせるようなスタイリングを実現。

## 技術「Sophisticated」

- ・ 燃費優先や雪道走行など運転環境に合わせて走行モードをダイヤルで簡単に選択できる「ALLGRIP」を採用。
- ・ 欧州仕様車には、全車 48 ボルト SHVS マイルドハイブリッドを採用。燃費抑制はもちろん、アクセル操作に応じてエンジントルクにモータートルクを上乗せするという加速補助も可能とした。
- ・ 衝突被害軽減ブレーキ、標識認識機能、車線逸脱抑制機能、全車速追従機能付アダプティブクルーズコントロールなどの運転支援機能に加え、全方位モニターや後退時車両検知警報などの駐車支援機能も充実させた。

## 使い勝手「Versatile」

- ・ アウトドアから長距離移動まで多彩な場面で活躍する扱いやすさ。
- ・ コンパクトな車体の中に最大限の空間をつくるスズキのノウハウを駆使し、大人 5 人がゆったり座れる快適性と、多用途に使える荷室容量 430L を実現。
- ・ 開放感のある大開口サンルーフを採用するなど、移動を最大限に楽しんでもらえるよう工夫をこらした。

## 主要諸元(欧州仕様車)

- ・ 全長 4,300mm×全幅 1,785mm×全高 1,585mm
- ・ ホイールベース:2,600mm
- ・ エンジン:1.4L直噴ターボエンジン(マイルドハイブリッド)
- ・ 最高出力:95kW/5,500rpm(モーター:10.0kW)
- ・ 最大トルク:235Nm/2,000-3,000rpm(モーター:50Nm)

11月25日にウェブ上で行った発表会において、スズキの鈴木俊宏社長は「**新型「S-CROSS」**は、スズキのSUVへの思いを詰め込んだモデルに仕上がった。環境対策の先頭をきる欧州向けには、既に乗用車全てにハイブリッドを採用しているが、2022年よりストロングハイブリッドモデルのラインアップを強化する。**新型「S-CROSS」**も、2022年後半にはストロングハイブリッドモデルを導入する。さらに、コネクテッドサービスを導入し、お客様により便利で快適な車のご利用を提案していくことを計画している。」と述べた。

ストロングハイブリッドモデルには、駆動用モーターとオートギヤシフトを組み合わせたスズキ独自のシステムを採用し、2022年初めより欧州向け「ビターラ」に搭載し、続いて同年後半より**新型「S-CROSS」**に搭載する計画である。